
道歌で詠み説く日本語

日本語は哲学の宝庫と言われます。

世界の言語は記号ですが、日本語だけは文字の一つ一つに意味が込められているからです。

その意味も形だけでなく、心の世界を現す文字も多くあります。

言霊とは言語にこもる霊力のことです。「言葉に霊力が込められている」ことは古事記の時代から言われています。

日本語の歴史も「ホツマツタエ」とか「カタカムナ」と言われるように非常に古く、伝来したものでなく日本で生まれたものかもしれません。

その日本語も陰陽思想で解釈するとさらに奥深いものになります。

一方で日本には道歌(どうか)と言われる道徳的な教えをわかりやくす詠み込んだ和歌があります。

このように深い意味を持つ日本語に興味を持ち、日々陰陽思想に基づき道歌にしてきました。

それぞれ味わってみて下さい。

令和 7 年 5 月 8 日

陰陽思想講座

——あ行——

- 1、 愛するは 心を受ける 読むなれば 善し悪し問わず 受けて包めよ
- 2、 愛するは 心真ん中 あるなれば 相手の心 包むものなり
- 3、 愛と恋 心あり方 違いなり 愛は真ん中 恋は下なり
- 4、 明るいは 日と月揃う 姿かな 日は夫なり 月は妻なり
- 5、 憧れる 人というのは どんな人 童の心 忘れぬ人か
- 6、 朝の文字 十月十日と 読むなれば 一日一生 感謝の教えか
- 7、 争うは 互いに主張 するからぞ 真理によりて 争点無くせ
- 8、 歩くとは 止まる少なく 読むなれば 休まず歩け 教えありしか
- 9、 安樂は 女が家に いて樂し 妻を大事に 教えありしか
- 10、 良い加減 加え減じる 出来る人 その時々 眞実読めば
- 11、 あれが良い これが悪いと 言いながら 儚く終わる 人生なるか
- 12、 一緒とは 一つの心 系のように 緒び歩かん 仲間言うなり
- 13、 因果とは 流れの過程 示すもの 原因ありて 結果あるもの
- 14、 器とは 上下左右の 人々を 大きく生かす 姿言うなり
- 15、 恨むとは 心固まる 読むなれば 早く流せの 教えあるなり
- 16、 絵になるは どんな人生 分かるかや 出会いを糸で 繋ぐ生き方
- 17、 運命は 命を運ぶ 読むなれば 誰が運ぶか 考えてみよ
- 18、 運命の 仕組み悟れる 我なれば 人との和合 悟るはずなり

- 19、怒るとは 奴の下に 心かな 下に下に 押さえて生きよ
- 20、想うとは 相手の下に 心置き 幸せ願い 支える心
- 21、嬉しいは 女喜ぶ 読むなれば 母妻共に あつての我か
- 22、忙しい 心亡くすと 読む如く 心あつての 人生なるぞ
- 23、お陰様 陰に隠れた 人々の 心想うて 出る言葉かと
- 24、運命は 品性により 磨かれる 幽玄の仕組み 悟ることなり
- 25、温情は 水に食べ物 情を添え 善悪超えて 励ますことか
- 26、売上は 伸びるべくして 伸びるもの この世の仕組み 悟れるなれば
- 27、売上は 下げるからこそ 上がるもの Vという字を 見つめてみれば
- 28、売上は 組織と営業 両輪を 財務が支え 伸びゆくものぞ
- 29、売上は ヒトモノカネの ハーモニー 自ずと売れる 仕組み作りぞ

———か行———

- 30、快適な 職場か否か 問うてみよ 見える聞こえる 言える快なり
- 31、会話とは 陰と陽との 組み合わせ 調和となりつつ 花を咲かせよ
- 32、叶うとは 口にプラスと 読むなれば プラスの言葉 意識するなり
- 33、金持ちは 金に満足 出来る人 足る知る心 大切にせよ
- 34、完璧は 完全な玉 作ること 丸く納める 心言うなり
- 35、危機が来た 危険と機会 読むなれば どちらにするか 我次第なり

- 36、 聴き上手 目と心とを プラスして 耳の力を 助けているなり
- 37、 感謝とは 感じ謝る 読むなれば 謙虚に生きよ 悟す言葉か
- 38、 奇跡とは 可能性大 なることを 信じ歩んだ 足跡なるか
- 39、 規範とは 規則で動く 組織とし 模範を示し 導くことぞ
- 40、 逆も真 見方を逆に 眺めれば 真なる景色 表われるなり
- 41、 凶の文字 窪地から芽が 出る姿 門出の時と 喜び進め
- 42、 暗いとは 日と音並ぶ 姿かな 互いに強く 暗くするなり
- 43、 経営は 経の縦系 基本とし 営の横系 織る極意なり
- 44、 経費とは 経に費やす ものならば 厳かなもの 軽んべからず
- 45、 結婚は 黄昏れてこそ 結ばれる 平凡な愛 人生の味
- 46、 結婚は 黄昏れ結ぶ 読むなれば 行き着く姿 闇夜に手探り
- 47、 結婚は 黄昏れてこそ 光るもの 闇夜を照らす 光なるかな
- 48、 極楽は 浄土にあると 書きよるぞ 生きてこの世の 極楽なるか
- 49、 極楽は 楽しみ極み 読むなれば 楽しむ心 悟って生きよ
- 50、 金と銭 違い悟れる 我なれば 日々磨くこと 忘れるなかれ
- 51、 給与とは 労使相和し 決めるもの 組織円滑 基本なるもの
- 52、 給与とは 労使の心 一つにし 調和心で 決めゆくものぞ
- 53、 希望とは 望み希なる 読むなれば 我を律する 言葉なるかな
- 54、 金持ちは 誰でもなれる ものならば 条件一つ 足る知る心

- 55、後手ならば 固く守りて 耐え抜いて やがて解決 後の光なり
- 56、紙頼み 誠意によりて 神頼み 奇跡起こるは 必然なるぞ
- 57、紙頼み 紙から神へ 導いて 神の心で 調和に進め
- 58、計画は 空間軸と 時間軸 同時に捉え 作るものなり
- 59、遂も真 見方を遂に するなれば 新たな発想 生まれるものぞ
- 60、米粒も 量が増えると 糧になる 一粒の恩 忘れるなかれ

——さ行——

- 61、浄土とは 土が浄まる 読むなれば 生きてこの世で 味わうものぞ
- 62、幸せと 辛いの違い 一つだけ 考え方で 行ったり来たり
- 63、幸せは 辛いに一を 足したもの 一とは真理 世の道理なり
- 64、叱るとは 口で否と書く 読むなれば 愛情あるを 忘れるなかれ
- 65、仕事とは 仕える事と 読むなれば 心構えも 新なるなり
- 66、自己破産 産むを破ると 読むなれば 次の人生 暗きものなり
- 67、自信とは 自分を信じ 生きること 世に役立つ 己信ぜよ
- 68、忍ぶとは 刃の心 読むなれば 我に厳しく 生きることなり
- 69、自分とは 自然の中の 部分かな 調和せずして 生きられぬなり
- 70、情報は 情けに報いる 読むなれば 相手の心 尊しとせよ

- 71、 上中下 帝王学を 説くものぞ どれを指すのか 考えてみよ
- 72、 上の人 下あることを 知らずして 苦勞知らずに 育つ人かと
- 73、 中の人 上も下も 結ぶ人 眞の帝王 言える人かと
- 74、 下の人 上行くことを 知らぬ人 己の立場 守る人かと
- 75、 人生は 心と形 あるものぞ 心で生きるか 形で生きるか
- 76、 人生を 松竹梅が 例えしか 年の初めに 思い新たに
- 77、 公の 気持ちで生きよ 教えあり 松の成り立ち 木を氣と読めば
- 78、 節目持ち 心空にて 暮らすなら 竹の如くに 強くしなやか
- 79、 冬に咲く 梅の花には 母あるぞ 母を思うて くじけず生きよ
- 80、 眞實は 嘘も誠も なきものぞ 眞に實のなる 結果言うなり
- 81、 絶望は 絶えない望み 読むなれば 絶景なりと 喜び進め
- 82、 相続は 争い続く 紙一重 争続家族 見るにつけても
- 83、 相談は 火と火の言葉 読むなれば 熱く問いかけ 我がものとせよ
- 84、 組織とは 組み織ることと 読むなれば 理念で組みて 人が織るなり
- 85、 俗人は 谷にいる人 読むなれば 早く気付いて 反省されよ
- 86、 仙人は 山に住む人 読むなれば 下界の悩み 縁なきものぞ
- 87、 借金 誠意によりて 溶けるもの 暖め時期を 待つが肝要
- 88、 至言とは 至る言葉と 読むなれば 言葉の眞理 至ることかと
- 89、 善悪は 口と心の 違いかな 眞の姿は 同じものかと

- 90、資産家は 足る知る心 忘れるな 待つは悲惨家 紙一重なり
- 91、自由とは 自分に由ると 読むなれば 我の責任 重きものなり
- 92、再建の 絶対条件 オンリーワン 作る基本は 心と形
- 93、最善は 先の分からぬ 人間に 無いと悟りて 次善実行
- 94、再建は 鬼から人へ そして神 心引き上げ 成就するもの
- 95、財務とは 過去の経理を 基本とし 未来を望み 考えるもの

———た行———

- 96、単純は 心単えに ブレないで 純な心で 生きる姿ぞ
- 97、大丈夫 人が隠れる 文字なれば 誠意によりて 心引き出せ
- 98、楽しいは 白い心で 糸のよに 木の信念で 結ぶことなり
- 99、正しいは 一旦止まると 読むなれば 省みながら 歩め教えか
- 100、調達は 調和によりて 達するもの 調和の心 忘れるなかれ
- 101、調和とは 和して整う 読むなれば 和の意味深く 心に刻め
- 102、調和とは 知識と真理 和の心 活かし合いてぞ 調うものぞ
- 103、転生は 転じて生きる 読むなれば 新しき世を 得るチャンスなり
- 104、東西は 木の間から 陽が昇り やがて落ち行く 茜空かな
- 105、南北は 北を背にして 眺めれば 南の中に 幸があるなり
- 106、倒産は 倒して産むと 読むなれば 真の幸福 得るチャンスかと

- 107、 取締役 取り締まられる 役目かと 意識持つこそ 経営者かな
- 108、 出入口 なぜ出が先か 考えよ 出すから入る 世の道理かな
- 109、 損得は なぜ損が先 考えよ 損するからの 得となりせば
- 110、 友達は 幸ある道と 読む如く 友を選びて 歩む人生
- 111、 天地人 天地の中に 人あるを 感謝してこそ 人間なるぞ
- 112、 転生は 転じて生きる 読む如く 人の幸福 得るチャンスなり
- 113、 知識とは 真理によりて 活きるもの 仕組み悟りて 品性とせよ
- 114、 倒産が 夫婦の絆 強めるか 真の幸福 得るチャンスかと
- 115、 度量とは 度と量目盛り そのままに 受けて収める 心いうなり

—————な行—————

- 116、 涙する 嬉しいことも 悲しみも 水に戻して 新たに出発
- 117、 習うとは 白い羽こそ 染まるもの 白い心で 習い飛び立て
- 118、 人間は 出来る人より 出来た人 良く見極めて 活かすことなり
- 119、 日本は 日の本の国 読むなれば 世界をリード 自覚するなり
- 120、 泣くことは 水に流して 立ち上がり 気持ち新たに 出発の時
- 121、 日記帳 己の言を 日々記録 内省加え 生き抜くためか
- 122、 流れには 乗りて吞まれず 流されず 真理によりて 進むものなり

- 123、 始まるは 女が土台 書いてある 妻あればこそ 人生なるか
始まるは 女が土台 読むなれば 妻と咲かせる 幸福の花
- 124、 品性は 3つの口の 調和かな 己と他人 世の道理なり
- 125、 悲惨家は 資産家ゆえの 成れの果て 日々のニュースを 見るにつけても
- 126、 馬鹿利口 馬か鹿かと 問うなれば いずれでも良い 答えあるなり
- 127、 破産とは 産むを破ると 書きよるぞ 何があっても 避けることなり
- 128、 恥を知る 耳の心と 読むなれば 人の意見は 心して聴け
- 129、 春が来た お日様の中 3人が 幸せ運び やって来るなり
- 130、 品性が 根と幹支え 基礎となり ヒトモノカネで 繁茂成長
- 131、 品性は 己と他人 世の道理 調和に進む 心言うなり
- 132、 武士道は 矛を止めると 読むなれば 争い避ける 道を言うなり
- 133、 武力とは 矛を止めると 書きよるぞ 戦わずして 生きる人生
- 134、 平和とは 口を小さく 平らかに 生きれば叶う 教えあるなり
- 135、 報告は 期待に報いて 告げること 受けた役目は 感謝で返せ
- 136、 方針は 会社が進む 道標 針の如くに 鮮明にせよ
- 137、 誉ある 人というのは どんな人 言葉に光 添える人かと
- 138、 方針は 針で方向 指すなれば 皆が一つに なるものとせよ

139、 普通とは 普遍に通ず 生き方ぞ 厳しき姿 悟ることかと

140、 働くは 人が動くと 読むなれば 働く仕組み 作るが先ぞ

———ま行以下———

141、 満足は 足で満たすと 読むなれば 己の足で 歩いてこそか

142、 負けるとは 刀で屈した だけのこと 心を強く 持つが勝ちなり

143、 迷うとは 道の米粒 読むなれば 小さなことは どちらでも良し

144、 魅力とは 未だ鬼でない 姿かな 怪しく人を 引き付けよるぞ

145、 連絡は 絡め連なる 読むなれば 円滑化への 要なるもの

146、 分けるとは 分ければ分かる 読むなれば 一刀両断 鮮明にせよ

147、 和令とは 口を小さく 合わせれば 自ずと生まれる 姿言うなり

148、 我に問え 右手左手 どちらかと 左手ありて 右手あるもの

149、 優しいは 憂いて人に 寄り添って 百の愛をば 注ぐ人なり

150、 世の中は 陰の憲法 基本とし 陽の法律 活かすものかと

以上

以上、150首、並べてみました。駄作もあるかと思いますがこれからも作り続けてまいります。

ご批評を頂ければ嬉しく思います。